

生徒・保護者・教員による学校評価の概要と課題

- ◎平成27年度は、耐久Rebirth(学校改革)に関する評価を得るために、調査内容の一部を変更して実施した。
- ◎実施時期:平成27年12月
- ◇評価回答者数 生徒:1年195名、2年196名、3年226名 計617名/(生徒数:628名)(回答率**98%**)
保護者:572名/(生徒数:628名)(回答率**91%**)、(昨年度は81.8% 576名/704名)
教職員:50名

1 生徒

生徒による評価は、「授業評価」、「学校評価」及び在り方生き方教育を進めている「総合的な学習の時間」の評価の3本で行った。

●授業評価

◎特に評価したいものは、17.「身嗜みや姿勢が集中して授業に取り組んでいる(93%)」、10.「規律が保たれた教室になっている(84%)」と高い肯定があるところ。

◎予習や復習等の家庭学習の取組みが、昨年30%程度から52%に伸びてきた点。

26年度		27年度 (% = a 当てはまる + b 大体当てはまる)	
17.「エチケット・マナーを守って」(84%)	⇒	17.「きちんとした身嗜みや姿勢で、」(93%)	↑UP
14,15.「授業の予習復習」が、(30%前後)	⇒	14. 予習や復習などの家庭学習」は、低いながらも(52%)に	↑UP 改善

●学校評価

◎特に評価したいものは、1.「学校全体として「時を守り、場を清め、礼を正すことができている(86%)」、2.「服装身嗜み挨拶について、指導が適切(87%)」と規律及び姿勢や態度がとても高い評価である。

△今後の課題は、6.「リーダー性を備えた生徒が多い(53%)」で、中核生徒育成の必要性がうかがえる。

●総合的な学習の時間について

◎特に評価したいものは、1.「耐久高校の歴史や伝統を深く知ることができた(79%)」、3.「世の中の仕組みや世の中で大切なこと、働くことの意義や意味の理解(82%)」と、この科目の教育目標を肯定する高い評価である点。

△今後の課題は、8.「ひとつのことに對して様々な方向から考えたり、…自分の意見を理論的にまとめられる(63%)」、10.「授業中リーダーシップを発揮したり他の人と協力して学習することができるようになった(58%)」で、生徒自らの主体性やリーダー性の育成である。

以上まとめると、生徒による評価でみえる、今後の課題としては、

- ① **家庭学習**のさらなる確立と習慣づけ、学習習慣の定着・向上
- ② **中核生徒の育成**
- ③ **在り方生き方に積極的に**取り組むこと等

2 保護者

●学校評価(全学年保護者)

◎特に評価したいものは、1.「耐久高校が目指している方向性や目標等は保護者に対してわかりやすく示され理解できている。(82%)」、3.「耐久高校から各家庭への情報提供や連携が十分出来ている(86%)」、4.「三者面談等において、生徒の様子や課題、今後の展望等について、十分な説明がなされている。(92%)」と**学校と家庭の連携協力**が適切に機能している高い評価である点。

△今後の課題は、11.「働くことや学ぶことの意義や目的をしっかりと考えさせるキャリア教育(68%)」が、低い評価ではないが、もっと高めていくことである。

26年度		27年度 (% = a 当てはまる + b 大体当てはまる)	
f本校には、他の学校にない特色があると思いますか。(54%)	⇒	1.耐久高校が目指している方向性や目標等は保護者に対して、わかりやすく示され、理解できている。(80%)	↑UP
d本校の日常の教育活動に保護者や地域の意見が取り入れられていると思いますか。(55%)	⇒	3.耐久高校から各家庭への情報提供や連携は十分にできています。(85%)	↑UP

☆保護者から52の意見が出されている。その一部をあげると。

- ◎1、担任の先生には、進路指導にあたり熱心にご指導いただき有り難うございます。
- ◎2、〇〇先生には大変お世話になり部活動にも専念でき志望校にも合格できました。
- ◎3、小テストや宿題があり家庭で勉強するようになった。というような肯定的な意見もあったが…

△4、授業時間が65分ですが、長いと余計集中力が切れて勉強に身が入らない気がします。ノートのとり方にしても、ノートをあまり使わない先生と沢山ポイントを教えてくれる先生とでは、試験勉強にも影響があると思います。本当に内容など統一されているのか気になっています。

△5、一部の先生には本当に頭が下がる思いですが、多いかと聞かれると…。⑩の件(文を修め武を錬る)にしても、これからだと思えます。⑫(耐久への期待満足)にしても期待しています。希望はあると思えます。上記のような改善要望のご意見もあった。⇒これらについては職員で共有し改善の対応をしている。

3 教員

教職員による評価は、「学校評価」及び「学校評価アンケート(経年変化)」の2本で分析した。

●学校評価

◎特に評価したいものは、総合評価①～③においてとても高い評価(いずれも90%を超えている)を得ている点である。耐久Rebirth(学校改革)において、教員の取組み姿勢の高さであると考察している。

△なお、今後の課題としては、31.「リーダー性を備えた中核生徒育成(62%)」34.「生徒の自主的自治的なHR活動・生徒会活動・特別活動の展開(60%)」と、生徒による評価と一致する。また、57.「教職員の健康増進のための対策(56%)」についても、永年の課題である。

●教職員用【共通】、過去5カ年の経年変化

◎特に評価したいものは、総合評価①～③において、5カ年中もっとも高い評価である。

◎注視すれば、進路指導総合評価が昨年の低い評価に比べ大幅な改善である点 (26年・65%→27年・92%)